

(記入見本)

父母がいない場合は、事由を記入してください。(離婚の場合は「離別」、死亡の場合は、「死別」となります。)

家族構成 (主たる家計支持者に○)	続柄	氏名	年齢	職業	(勤務先名称)
	父	(離別)			()
	母	日大華子	48	会社員	(株)レイワ
					()
就学 (本人を除く)	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年等
	兄	日大未来	22	日本大学文理学部	4年

主たる家計支持者に○印をつけてください。

兄弟等が多く、行が足りない場合は2行書きにしてください。

公的支援を受けた方は、選考時に考慮いたします。
をして、必要書類を同封してください。

該当する場合は、チェック欄にチェックをしてください。
 「公的支援の受給証明書」(国等が新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者を対象として実施する書類)を提出した者

申請理由(記述式記入欄)

【学費支弁者(父母)がどのような影響を受けたか】
 ※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年からの収入減少が大きい。家計支持者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合、収入が減少している。内容が具体的ではなかったり、ただ単に「家計が厳しいため」といった内容では、応募できません。

私が〇〇歳の時に両親が離婚し、それ以来、母親の収入で兄と私の学費を工面していきました。

しかしながら、母親の収入だけでは足りず、日本学生支援機構の第〇種奨学金を利用し、月々〇〇万円を借入している状況です。そういった中、新型コロナウイルス感染症の影響により、母親の会社が大きく影響を受け、昨年度より約〇〇万円程度収入が減る予定です。

以上のことから本奨学金の給付を希望いたします。

【学生本人のアルバイトについて】
 ※学生本人が新型コロナウイルスの影響を受けた場合、アルバイトをしていない場合、アルバイトをしていても、家計支持者が影響を受けた場合は、「なし」と記載してください。

学費は母親が工面していますが、生活費は私のアルバイト代で賅っていました。以前は、月〇〇万円程度の収入がありましたが、新型コロナウイルスの影響により、2月から5月までは、ほとんどアルバイトに入れなかった状況でした。6月以降は、少しずつアルバイト収入が増えてきましたが、まだ以前の収入には満たない状況です。新型コロナウイルス感染症の再拡大の状況によっては、今後収入が無くなることもありえる状況です。